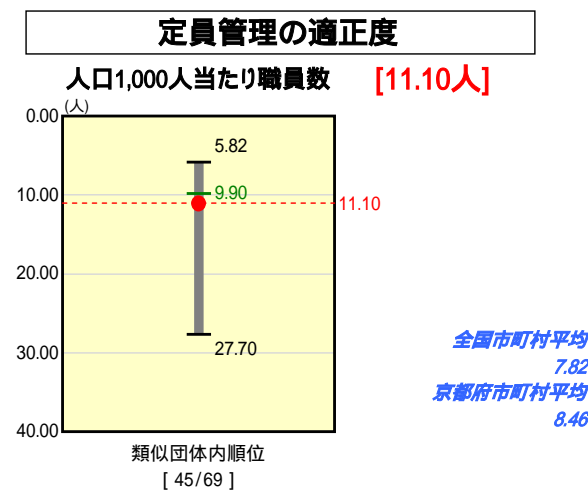
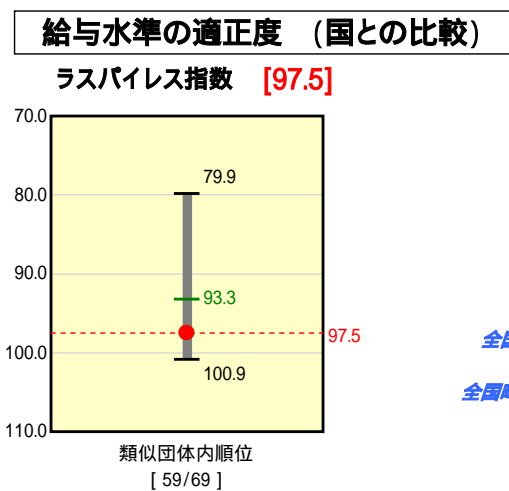
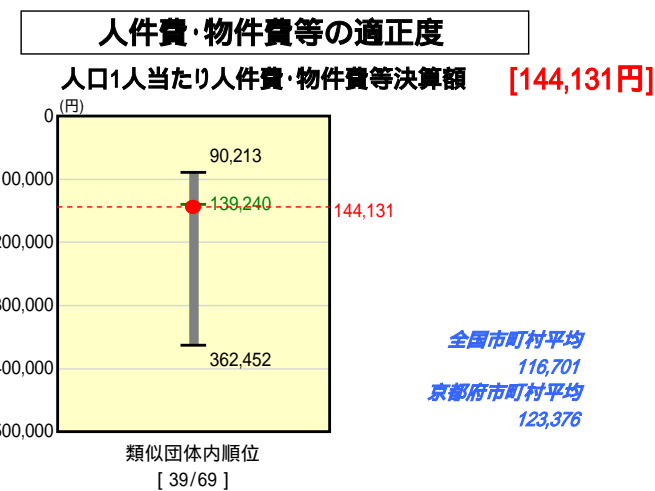
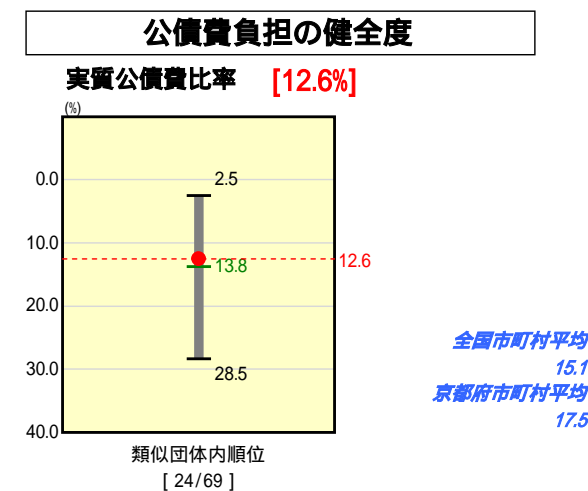
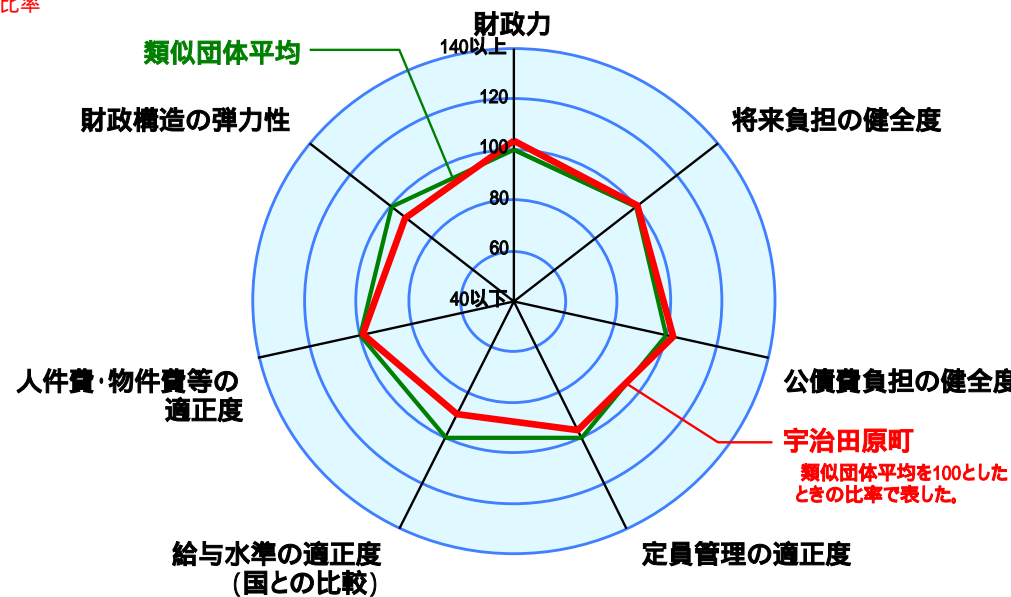
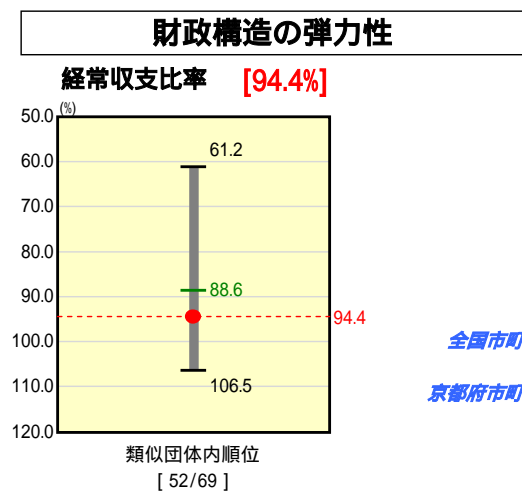
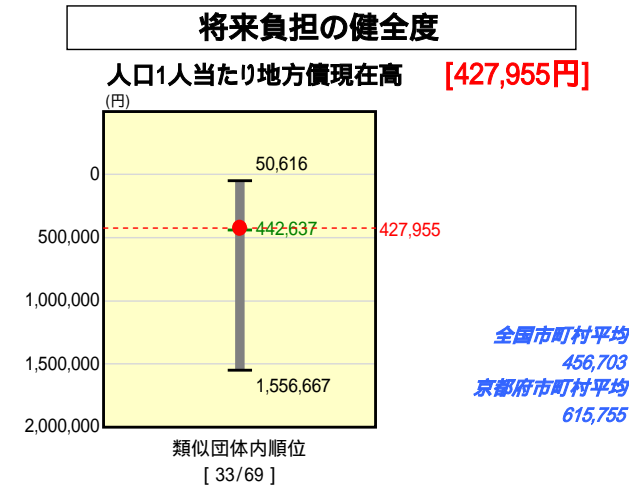
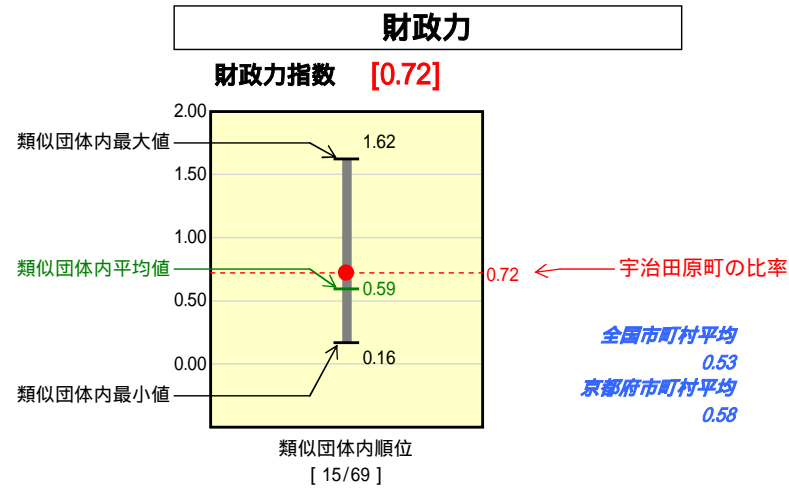


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

京都府 宇治田原町

人口	10,086	人(H19.3.31現在)
面積	58.26	km ²
歳入総額	3,641,163	千円
歳出総額	3,552,426	千円
実質収支	88,737	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力(財政力指数)】

全国的には景気回復基調にあるものの、本町の税収入等は依然として本格的な回復に至っていないところである。一方で宇治田原工業団地等の事業所の法人税収入により財政力指数は0.72と類似団体を上回っている。

【財政構造の弾力性(経常収支比率)】

財政構造の弾力性を表す経常収支比率は類似団体と比較すると人件費比率が他団体に比べて高い傾向があり、その点が経常収支比率を悪化させていると考えられる。引き続き宇治田原町第3次行政改革大綱及び実施計画に基づく経常経費削減及び事務事業評価システムによる事業の見直し等を実施し、経常経費の歳出見直しを行う。歳入面では交付税の削減等で依然厳しい状況ではあるが、工業団地等への企業立地を促進し、税財源の確保を図り、経常収支比率の好転に努める。

【人件費・物件費等の適正度(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)】

類似団体比較では同水準程度であるが、人件費比率だけを見ても類似団体よりも高くなっており、退職者不補充等により、適正な比率に努めるものとする。

【給与水準の適正度(ラスパイレス指数)】

給与水準の適正度を表すラスパイレス指数は全国比較すると、平均年齢が低いため類似団体平均93.3、全国町村平均93.9のいずれと比較しても97.5は高い水準にある。今後も国基準を基本に給与の適正化に努める。

【将来負担の健全度(人口1人当たり地方債現在高)】

これまで計画的な起債事業を実施してきたことにより、人口1人あたりの地方債残高は427,955円と類似団体と比較しても低い水準にある。今後も将来負担の適正を維持するため、計画的な事業実施に努める。

【公債費負担の健全度(実質公債費比率)】

大型公共事業の計画的な取り組み、投資的経費の抑制等に努めてきており、実質公債費比率は、類似団体平均13.8%、全国市町村平均15.1%のいずれと比較しても12.6%と低い比率となっている。大型道路建設事業が控えているが、今後も、緊急度、住民ニーズを把握したうえでの起債発行に努め、適切な財政運営に努める。

【定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数)】

団塊世代の退職対象者がいないという状況であり、人口1,000人あたりの職員数は11.10人であり、類似団体平均9.90人、全国市町村平均7.82人よりも高い水準になっている。民間活力の活用、退職者不補充等の削減を図る中で適正な定員管理に努める。